

さらなる時代の扉をひらけ
札幌学院大学
創立50周年



Sapporo Gakuin University

学園広報

1995.12.1 No.62

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111

軟式庭球部 全道秋季リーグ 王者の貫録でV10!!

ナイスプレーに、応援する選手達も意気上がる



目標を「日本一」とする今年の軟式庭球部は、学外監督の佐藤順一氏の教えや学外コーチの梅根裕一氏の技術指導のもと、全道秋季リーグ戦を全勝で優勝(5年連続)することができ、順調なスタートを切った。この優勝により、六月東京で行われた全国九地区の代表で争われる「全日本大学リーグ王座決定戦」へ出場し、目標に向けて全国の強豪に挑戦、善戦したものの一歩で、予選リーグの突破はならず、涙を吞んだ。また、八月に行われた全日本学生選手権大会では、3回戦敗退と、昨年のベスト16以上の成績を残すことができなかった。しかしながら、個人では三年ペアがベスト32に入る健闘を見せ、来季に向け明る

い結果をもちた。今年大会の壁の厚さを思い知らされ、本チームは一回り大きくなって全道秋季リーグ戦に望んだ。過去本学は同リーグで9年連続優勝しており、10年連続がかかっていることに加え、先輩の築き上げてきた伝統を止めたくないという思いや、全国を目指す上で道内では負けないというプレッシャーを感じてきたのである。しかし、逆にそれがチームの意識を高めたようである。そうしたさまざまな思いが巡る中、1戦・2戦こそ力みがあり、苦しい場面もあったが、最後には四年生が全勝による勝利を納め、快挙とも言うべき10年連続の優勝を成し遂げた。

この全道での輝かしい成績をバネに、来季の全国大会に望む上で、目標である「日本一」に向けての大きなステップにしたい。

五十周年記念事業の一つとして、今年よりエンブレム等制定委員会に於いて検討を行ってきた「大学の花・木及びマスコットキャラクター」が、この十一月に制定される見込みとなり、現在、アンケートを参考にデザイン等の最終的な詰めを行っている。

この大学の花・木及びマスコットキャラクターは、今後広報や学生の課外活動等に広く活用され、五十周年記念に向けたムード作り大いに貢献するものと期待されており、尚、この委員会では、引き続き「エンブレム」の制定について検討が行われることになっております。

Table with columns: 学部・学科, 出願期間, 試験日, 試験場, 合格発表日. Includes '大学院入学試験日程' and '一般入学試験日程'.



緑豊かなPLUのキャンパス(ワシントン州タコマ市)

パシフィック・ルーセラン大学に5カ月間

4年間で卒業が可能
この協定は、PLUにおける「アメリカ研究」等の授業を通して異文化間コミュニケーションの習得及び英語運用能力の向上を図ると、またホームステイ等の経験を通過してアメリカ社会の理解を深め、これにより国際理解の増進にも役立たせることを目的としています。派遣期間は、平成八年度前期は、三月から八月までの五



大学間交流協定調印後アンダーソンPLU学長(中央)と共に宮町人文学部教授(右)と石田企画調査室長(PLU学長室にて)

PLUの概要
一八九〇年ルター派教会の信徒によって設立、四年制男女共学。九五年、学部学生数は二、八六八人、聴講生五六六人、大学院生数は一七〇人程度で、教員一人当りの学生数は、一五・五人です。信徒達の祖国であったドイツやスカンジナビア半島の教育風土は、今も受け継がれています。大学の位置は、シアトル市内からバスで五〇分のタコマ市から南に十キロほどの郊外にあり、周囲は豊かな自然環境に恵まれ、また治安も良く、安心して勉学に励むことができます。

エンブレム等の制定について
五十周年記念事業の一つとして、今年よりエンブレム等制定委員会に於いて検討を行ってきた「大学の花・木及びマスコットキャラクター」が、この十一月に制定される見込みとなり、現在、アンケートを参考にデザイン等の最終的な詰めを行っている。

96年春より 留学制度スタート キミもアメリカへ飛び出そう!

参加費は、概算で七、三〇〇〜七、四〇〇で、別途渡航費その他個人にかかる費用が必要となります。九六年度の参加申し込みは、十二月十一日から十八日まで、参加者の発表は一月十八日を予定しています。

講演と音楽の夕べ
国民の司法参加
陪審制度を中心として
当日は、杉本学長の挨拶の後、講演に入り、渡部教授は「陪審員は、国民が数年に一度くらい法廷に呼ばれ、証言や弁解に耳を傾け、事実の判断をくだす制度です。陪審員は、裁判官から「有能な陪審員とは、健全な常識、絶対的な正直さ、完全に公正の心を持つ男女を意味します」陪審員を受ける最大の報酬は、その大切な義務を忠実に正しくかつ立派に果たしたという自覚によって、支払われましよう」と説明を受け、目の前でおののく被告を見ているうち、「ヨシ本当に正しい裁判をしよう」と決意するそうです。と裁判に臨む陪審員の心理について触れ、わ

'96(平成8)年度

大学院レポート

知的好奇心で研究きわめる



院生の生活の本音

大学院法学研究科 南 智聡

学部生に「大学院生は何をしているのか」という質問されるのだが、思わず返答に躊躇してしまう。的確な回答をするには十分である。

強するのだ。これは大変な事なことである。もし「因数分解せよ」等の問題を毎日議論しなくてはならないのなら、これは私にとって苦痛以外のなにものでもない。

21世紀の北海道を考える

商学部初の公開講座

商学部が毎年九月始めに開催している商学特別講義も今年で第十一回目を迎えました。

この講座は、北海道における企業・官庁・団体等の第一線で活躍しておられる代表的な経営者・スペシャリストの方々と講師としてお迎えし、経営哲学や理念、経営戦略、人生観等について、講演テーマに沿いながら自由な語り合いがなされる。

罪(殺人・暴行・傷害)における現状について考察研究。佐々木洋司(商法)「ゴルフにおける法律問題(会員権・ゴルフ打球事故)」。佐藤史子(刑法)「アメリカの刑事司法における答弁取引制度についての考察」。

定における政治的に迫害される者」の解釈。右谷誠(憲法)「戦前の出版検閲の法理」。南智聡(中国法)「中国が二十一世紀の環境に与える影響の法的な分析」。

95就職戦線

求人数昨年よりアップ

女子は今年も苦戦

本年度の就職戦線は、三年連続の不況に加え阪神大震災、三月以来の急激な円高などの影響により景気の先行き不透明感を増幅させ、大手企業を中心に採用計画数を抑制したことがあり、学生にとっては昨年以上に厳しく「超氷河期」といわれる雇用環境が続いている。

女性求人は、こうした厳しい就職戦線を予測し、危機意識の道外七・四%とそれより伸長もとに就職活動を早期化し、積極的に活動した。二、三月に学内で実施した就職特別講座には延べ四千四百名が参加し、意欲的な姿勢を見せた。

本学では、ここ数年求人数が減少してきていたが、今年度は昨年より求人数の発注を大幅に増やした。その結果、昨年同期に比し九十数件増の求人申し込みを確保し、減少傾向に一定の歯止めをかけた。業種別では「製造業」、「金融・保険」と東京で「企業と大学との就

民間調査機関による求春大卒男子の求人倍率は一・三三(前年一・四三)倍、女子は倍(前年一・四三)倍、女子は別では「製造業」、「金融・保

と東京で「企業と大学との就

と東京で「企業と大学との就

と東京で「企業と大学との就



厳しさを反映し、就職講座に参加した学生も熱心に耳を傾ける

九月二日夜、本学人文学部主催の講演会「証言・沖縄戦」が開催された。

昌家教授が「沖縄戦の概要と住民」について話された。沖縄戦及び米軍占領下の沖縄さらには沖縄独自の郷友会組織等についての研究を住民からの聞き書きの積み重ねをおして体系化された社会学者ならではの迫力に満ちた講演に圧倒された。太平洋戦争最後の唯一

「命どう宝」をかみしめ



講演される石原昌家先生(写真左)と島袋淑子さん(円内)

の国内戦「本土」防衛の「捨て石」と位置づけられた沖縄の地で炭骨の髄まで体験させられた「ありつた」地獄をひたひたに集めたような日々を息をつめる思いで聞いた。いまなお、米軍の基地の四分の三が存在する沖縄、マスコミに登場する何倍ものレイプや虐待事件のたえない沖縄の現在に思いを致しつつ、あらためて日本の戦後五十年について考えた。

米軍の猛攻下、火の海をかいくぐるなか精神に異常をきたし、「あなたに醬油樽いっぱいの水を預けたら」とつぶやきながら息絶えた友の話を、あたかも昨日のことのように語った彼女の涙まじりの声は、いまも耳から離れない。

証言 沖縄戦

市民の方々にも広く開放することをめざす。今年度の総合テーマは「21世紀の北海道を考える」ですが、

各講師の方からお話を頂きながら、21世紀を展望して、どのような長期の展望を持ち、どのようなビジョンの下で企業のような成長と私達自身の平和と安定した日々を暮らすかを確保していったら良いか、という観点から



Table with 4 columns: 回数 (Number), 日時 (Date/Time), 講師 (Lecturer), テーマ (Theme). It lists six lectures on Hokkaido's future.

教職員人事



採用 平成七年十月二日付 西川 徹 教授 流連論担当 昭和三十四年京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満六十四歳

昇格 平成七年十月二日付 教授 滝沢 広忠 教授 富本 省作 教授 前田 武男 昇格 平成七年六月二十六日付 総務課付参事 谷口 義秋 (学生事務部長)

一足早く「大学生」気分

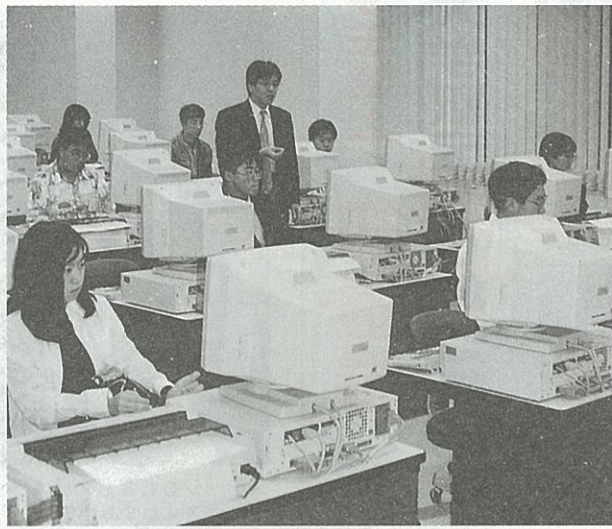
本年度のキャンパス見学会が九月二日と十月八日に開催されました。当見学会は、来春に受験を控えた生徒や、父母・高校の教員の方々に、諸施設を見学

して頂くとともに、本学の入試制度や入学後の学生生活等様々な疑問に答えることを目的として開催しているもので、今年で八年目を迎えました。参加人数は一回目が二二名、二

回目が二八名でした。本年度は年二回の開催となりましたが、一回目は大学祭の開催期間中というところもあって、多くの受験生が来学しました。当日は、全体説明会、ビデオ上映に引き続き、図書

館・就職情報センター・LLI教室等諸施設を見学頂いたほか、入試・就職・学生生活・各学科内容についての相談コーナーを設けて、生徒の相談を受けました。特に相談コーナーでは、終了時間まで熱心に相談する生徒で一杯でした。見学会終了後、当日の大学祭の目玉企画である、タレント「爆笑問題」によるコントやオークションが催され、大盛況のうち終了しました。生徒からは、「大変よかったです。ぜひ来年は札幌学院大学の学生として大学祭に参加したい」との声が上がりました。

キャンパス見学会 初の大学祭期間中の開催



情報処理実習室でキーボードを操作する受験生



図書検索システムの説明に耳を傾ける

OB通信 福祉をフィールドワークに

社会福祉士 久松信夫



<プロフィール>
92年3月 人文学部人間科学科卒業
93年3月 日本社会事業学校研究科卒業
94年4月 特別養護老人ホームまりも園勤務
95年3月 社会福祉士資格取得
DANISH-JAPANESE CULTURE COLLEGE(DANISH SOCIAL COURSE)修了
同年4月~高齢者在宅サービスセンターマザアス氷川台勤務

養成学校は、大卒の社会人が主な対象だったので、世代を越えた交流や社会福祉の専門の勉強が楽しく感じられました。

養成学校卒業と同時に、社会福祉士試験を受験し、資格を取得したため、大学時代に興味関心と意欲で選んだ社会福祉を自分のフィールドワークとしていくことに新たな意欲を感じるようになりました。

社会福祉士は「福祉に関する相談に応じ、指導、助言その他の援助を行う」専門資格とされ、様々な職種において相

社会福祉には以前から関心があり、大学時代は様々な施設を見学したり自主的に実習をしたこともありました。

養成学校卒業後はそれまで

父母懇談会 つながりを

去る十月十六日、今年度の札幌圏での父母懇談会が本学を会場に開催された。当日は大学側から、学長・後援会理事の挨拶に続き、教務部長・学生部長・就職部長・教務課長からそれぞれ教育

目標・学生生活・就職活動・成績表の見方について説明があり、大卒生のレポートを見た後個別面談に移った。個別面談では、学部ごとに担当教員から学生の成績表を見ながらこれまでの修学状況が

どうであったか、また、今後どういった点に注意したいか、アドバイスがあり、参加者は熱心に質問をたりメモをとったりしていた。また就職相談コーナーを設け、希望者は就職課の職員が対応した。参加者からは公務員になるという希望があった。卒業生はどんな所に就職しているのか、といった質問が多く出された。



父母とじっくり個別面談＝北見での父母懇談会

安全運転を実技指導 バイク通学者対象に

ここ数年、バイク通学者が増す中、学生によるバイク事故を未然に防ぐ為に、十月五日、本学三号館前の正面道路

講習内容は、運行前点検からはじまり、基本的な乗車姿勢、低速でのバランス、ブレーキング、スローダウン等の指導が行われた。また、隊員がバイクで大型タイヤを乗り越えるなどの模範実技も披露され、学生から大きな歓声が上がっていた。

この講習会で学生の運転技術向上と、交通安全の意識を高める機会になることを願うと共に、今後もこのような講習会を行い、より多くの学生に交通安全を呼び掛け、事故防止に取り組みを行きたい。



模範実技に喚声が上がる

学生にアドバイスする白バイ隊員

職員海外研修 ヨーロッパ研修に参加して

事務局長 宍戸親春

日本私立大学協会が主催するヨーロッパ研修に参加する機会を得て、去る七月二十四日から二二日の日程で、西欧六カ国(イギリス、イタリア、スペイン、ドイツ、ベルギー、フランス)を視察した。

研修は、日本私立大学協会が私立大学教職員の研修事業の一環として実施されたもので、「ヨーロッパ各国におけるこの度、訪問した大学は六カ国で十大学に及び特にイギ



ジュネーブ国連欧州本部前にて

私大助成署名への協力 ありがとうございます

札幌学院大学公費助成推進協議会は、公費助成による八三名の要請書を持参し、文部省・大蔵省と関係機関への要請を行いました。なお、今年度九月末までの補助金の増額要請などに取り組みしております。九五年七月には、九六年度文部省概算要求に向けた国私大中央要請にご報告致しますと共に、今行動がおこなわれ、本学協議会後とも協力方よろしくお願いを始め教職員・学生からご協



全日本大学駅伝の応援に駆けつけた同窓生・大学関係者と選手たち=伊勢神宮

道内では常に上位の成績を収め、安定した力を持つ陸上競技部に連勝記録の話題が集まった。六月、5連覇がかかった「第47回北海道学生陸上競技対校選手権大会」に於いて、5種目で優勝し全国大会への出場権を獲得したが、健闘空しく総合優勝を逃し連覇の夢が遠くなる結果に終わった。しかし、その悔しさを糧に臨んだ道内、東北、北信越地域の大学が参加しての対校戦「第17回全日本学生陸上競技対校選手権大会」では、初の総合優勝を成し遂げた。

陸上競技部 全日本大学駅伝 6年連続出場 初優勝

十一月五日、北海道代表として6年連続の出場となった「第27回全日本大学駅伝対校選手権大会」は、全国八地区の予選を勝ち抜いた23校が出場。熱田神宮(名古屋)から伊勢神宮(伊勢市)までの8区

十月、男子駅伝チームは、6年連続の全国出場権を賭けて「第7回北海道大学駅伝対校選手権大会」へ出場、レギュラー選手3名(文学部三年)と出遅れ、その後の区間では各選手が好走を見せたものの、全道の壁は厚く23位という結果に終わった。タイム、順位とも昨年の記録を上回ることは出来なかったが、この結果が選手達にとって次の大きな目標へ変わって行くことであろう。

硬式野球部 連続準優勝 春季・秋季リーグ戦



秋季リーグ戦で奮闘するナイン

昨春秋、ブレオフ戦で惜しくも敗れ優勝を逃すなど、ここ数年、惜敗が続く硬式野球部は、今春兵庫県で強化合宿を行い、最後の年に勝負を賭ける左の四年生岡エース平



自分達の制作した映画に最終チェックを入れる部員たち

バレーボール部 念願の一部昇格

三年前の秋季リーグ戦で二部リーグに昇格して以来、同リーグでは常に上位の成績を収め、安定した戦いぶりを見せてきたバレーボール部は、今年こそ「一部リーグ昇格」を目標として、七月に行われた「北海道地区大学体育大会」で、順当に勝ち進み、決勝戦で北海道大学に惜しくも敗れたが、準優勝を成し遂げた。

「映画を観るだけでなく、自分達で撮る」の方針で、現在三十八名の部員が活動している映画研究会は、所属している。

年間行事の中で特に大きなものが、五月に行われる「春のシネポリ」(シネポリス・ア・札幌)と、十二月に行われる「冬のシネポリ」である。これらの上映会は札幌近郊の五大(北星・北海・札大・北大・本学)の合同で行われる大規模な上映会である。春のシネポリでは、一年生が中心となって作り上げる作品を出展し、冬のシネポリでは三年生が中心となり、加えて部員全員が協力し合って作られる大作を出展している。

上昇気流にのって 若さ爆発



ステージもお客もノリノリ=フォーク村ライブハウス「ねずみ小僧」

会場の笑いを独占したお笑いタレント「爆笑問題」

第25回 大学祭



「初夕祭」と題し、二部構成で大学祭期間中の企画内容を面白おかしく宣伝する「コマンチャ」

恒例の大学祭が、十月七日(土)から十日(火)までの日程で開催され、夢と希望を乗せたテーマ「上昇気流」と銘打って、若い力が爆発する一方、地域住民の方々の絆を深めていくことを大切に考え、自由に参加できるフリーマーケットや、地域住民の出席を中心とした展示会等の企画が催され、好評を博した。

民の協力で実行委員の熱意で 今年の大学祭は、期間中の心に残る素晴らしい祭りとなった。

「映画を観るだけでなく、自分達で撮る」の方針で、現在三十八名の部員が活動している映画研究会は、所属している。



一部リーグに昇格し練習にも力が入る

がんばりました ふくしま秋季国体出場者

- 陸上競技**
 - 成年A200m 茅野 涼子 (陸上競技部・文学部4年)
- ソフトボール**
 - 成年男子1部 松山 幸弘 (商学部3年)
 - 成年男子1部 阿部 健一 (法学部1年)
 - 成年男子1部 瀬筒野 生朝 (商学部1年)
- バレーボール(9人制)**
 - コ-チ 萩原 寧昭 (法学部3年)
- ソフトテニス**
 - 成年男子 中村 圭二 (教務部教務課職員 平成4年3月商学部卒)
 - コ-チ 佐藤 順一 (軟式庭球部監督(恵庭商工会議所勤務) 昭和50年3月商学部卒)